

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

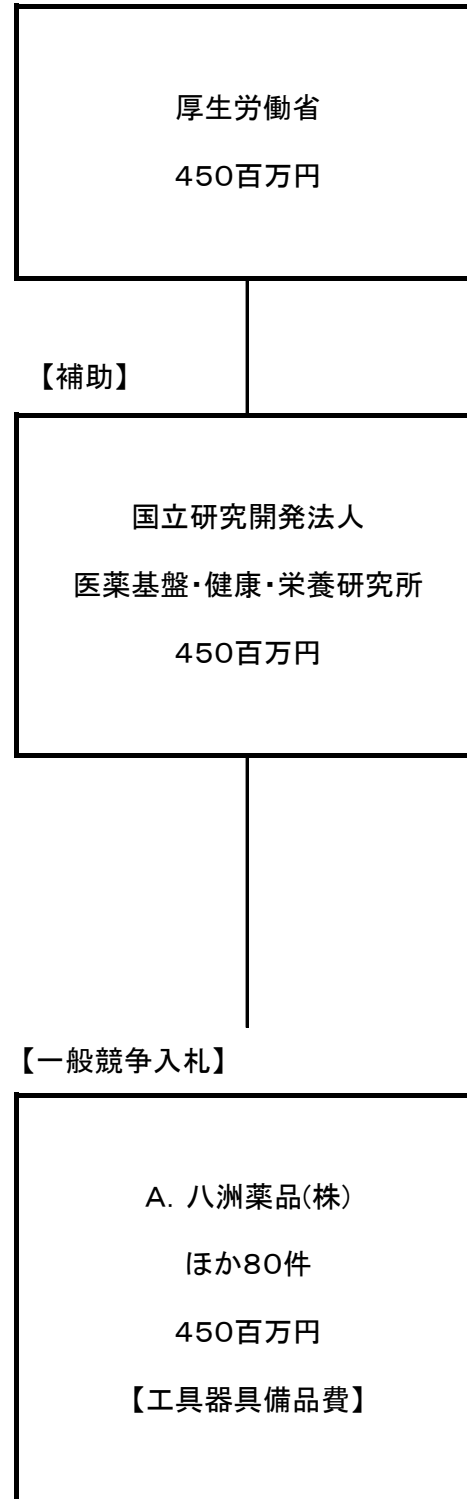
事業名	独立行政法人医薬基盤研究所設備整備費補助金			担当部局	大臣官房		作成責任者				
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	平成27年度	担当課室	厚生科学課		椎葉 茂樹				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人通則法 (平成11年法律第103号) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所法 (平成16年法律第135号)			関係する計画、 通知等	「新成長戦略」、「第3期科学技術基本計画」、「革新的医薬品医療機器創設のための5カ年戦略」						
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	創薬支援ネットワークによる抗体・核酸医薬等の開発支援機能を担う創薬支援スクリーニングセンターの機能強化を図ることにより、革新的な抗体・核酸医薬等の創出の成功確率の向上等を図る。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	抗体・核酸医薬等になりうる化合物の有効性や安全性を検証するための行程である最適化を実施するために必要な設備を整備し、創薬スクリーニングセンターの機能を強化する。										
実施方法	補助										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	-				
		補正予算	-	450	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	450	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	▲ 450	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		0	0	450	0	0				
	執行額		-	-	450	-	-				
執行率 (%)		-	-	100%	-	-					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	平成27年度に国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が実施する創薬支援スクリーニングセンターの機能強化のための体制整備として、28以上の機器を整備		体制整備のために必要な設備・機器の整備数		成果実績	件	-	-	81	-	-
					目標値	件	-	-	28	-	-
					達成度	%	-	-	289	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	平成27年度に国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が実施する創薬支援スクリーニングセンターの機能強化のための体制整備として、28以上の機器を整備		活動実績		件	-	-	81	-		
			当初見込み		件	-	28	28	-		
単位当たり コスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y  X:「当該年度執行額」 Y:「整備機器数」		単位当たりコスト		百万円	-	0	5.6	-		
			計算式		/	-	0/28	450/81	-		
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	計	0	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標2 研究を支援する体制を整備すること									
	施策	厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施及び医薬品等の研究開発の促進並びに保健衛生分野の調査研究の充実を図ること(施策目標X I-2-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
			実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	革新的な抗体・核酸医薬等の創出の成功確率向上のために設備及び機器を整備した。										
	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明								
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、広く国民のニーズがある。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の政策課題の解決に向けて実施している事業である。								
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、優先度の高い事業ある。								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	全て一般競争入札を行ったが、機器によっては1社しか応札のないものもあった。								
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有									
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無									
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業の遂行について、妥当なコスト水準を維持している。								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-								
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。								
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-									
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標を上回っており、見合ったものとなっている。								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	研究所の会計規程等に則り契約を行っており、他の方法等より低コストで実施することが出来る。								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は当初見込みを上回っており、見合ったものとなっている。								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	研究成果を通じて医薬品等の開発を支援している。								

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	本事業は設備整備のための経費であり、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金とは、事業目的が異なるため、適切な役割分担が行えている。
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	厚生科学課	915	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所運営費交付金		
点検・改善結果	点検結果	一般競争入札により、当初の目標としていた数よりも多くの機器を整備することが出来た。			
	改善の方向性	全て一般競争入札とすることにより、購入価格を抑えることができた点を運営費交付金を執行する際にも活かし、真にやむを得ないものを除き、競争性の確保に努める。			
<b>外部有識者の所見</b>					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	918

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.八洲薬品(株)			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工具器具備品費	ハイスループット解析システム 1式購入		60			
工具器具備品費	シングルセル核酸調整装置 1式 購入		26			
工具器具備品費	デジタルPCRシステム 1式 購入		16			
工具器具備品費	ドラフトチャンパー 1台 購入		6			
工具器具備品費	ドラフトチャンパー 2台 購入		6			
工具器具備品費	純水製造装置 Milli-Q Integral-15XL 1式購入		4			
工具器具備品費	自動タンパク質合成システム 1式 購入		3			
工具器具備品費	細胞融合装置 1式 購入		2			
工具器具備品費	顕微鏡 1式 購入		1			
工具器具備品費	顕微鏡 2式 購入		1			
	計		125	計		0

